

施策 251 南部地域の活性化

【主担当部局：地域連携部南部地域活性化局】

県民の皆さんとめざす姿

南部地域において、働く場の確保が図られ、定住が促進されているとともに、生まれ育った地域に住み続けたいというあらゆる世代の地域住民の思いがかなう地域社会が創られています。

平成 31 年度末での到達目標

定住の促進に向けて、市町、県およびさまざまな主体の連携が進展するとともに、地域において活性化に向けた住民による主体的な取組が広がっています。

県民指標						
目標項目	27 年度	28 年度		29 年度	30 年度	31 年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
南部地域における転出超過数						1,200 人
	1,530 人 (26 年度)					
目標項目の説明	南部地域の市町における転出者数から転入者数を引いた数					
28 年度目標値の考え方						

活動指標							
基本事業	目標項目	27 年度	28 年度		29 年度	30 年度	31 年度
		現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
25101 住み続けたいくなる取組（地域連携部南部地域活性化局）	南部地域の人びとによる創業件数（累計）						15 件
		4 件					
25102 戻りたくなる取組（地域連携部南部地域活性化局）	南部地域において将来的に戻りたいと考えている高校生の割合						80%
		—					
25103 暮らしたくなる取組（地域連携部南部地域活性化局）	県および市町の相談窓口等で把握した南部地域への移住者数						60 人
		—					

現状と課題

- ① 南部地域は、第一次産業の衰退に加え、大規模な工場誘致による雇用の場の確保も難しいことなどから、若者世代の人口の流出と高齢化が進行しており、集落機能の維持が困難になる地域が増えています。財政基盤が脆弱な市町も多いこともあり、連携による効果的・効率的な取組が求められています。
- ② これまで、定住の促進や働く場の確保に向けた複数市町による取組を積極的に支援することで、市町連携の促進や一体感の醸成に取り組んできました。さらに、市町や大学と連携して集落機能の維持に向けてモデル的に取り組むことで、住民自身による主体的な取組へつながっている地域も出てきています。
- ③ 南部地域は進学等のタイミングで若者が地域を離れる割合が他の地域に比べて高い傾向が見られますので、一旦は地域を離れたとしても将来的に戻って来るための働きかけが必要です。一方で全国的な地方創生への動きもあり、地方回帰に向けた機運は高まりを見せています。これらを的確にとらえ、定住の促進につなげていく必要があります。
- ④ 平成 28（2016）年の伊勢志摩サミット開催のチャンスを一過性にせず、引き続き地域の活性化につなげていくことが求められています。

平成 28 年度の実行方針

- ① 地域の実情に応じて市町がさまざまな形で連携した取組に対し、引き続き南部地域活性化基金を活用して支援を行います。特に、定住につながるような地域との結び付きを強める取組や若者の働く場の確保に向けた取組を中心に支援していきます。また、情報共有や課題解決に向けた話し合いの場を設けることで、南部地域における市町の一層の連携や効果的・効率的な事業の実施を促進します。
- ② 市町が大学等と連携して実施する集落の自立と活性化に向けた取組を支援するとともに、関係者の情報共有や成果発表の場づくりに取り組めます。また、地域の人びとが集まり、地域での新たな事業活動につなげるための拠点づくり・場づくりを支援します。
- ③ 行政職員や地域おこし協力隊など住民の主体的な取組をサポートする人材がつながり、学び合うことができる場づくりを行うことで、地域を支える人材のネットワーク化を促進するとともに、地域おこし協力隊の定着を図るため、彼らが提案するプロジェクトを支援します。
- ④ 平成 28（2016）年の伊勢志摩サミット開催を南部地域の活性化につなげるため、市町と連携して地域の魅力発信や誘客促進などに取り組めます。

主な事業

- ① 南部地域活性化基金積立金【基本事業名：25101 住み続けたくなる取組】
予算額：(27) 33,978千円 → (28) 23,981千円
事業概要：南部地域における働く場の確保や定住を促進するため、地域や市町のニーズに応じて、複数の市町が連携して取り組む事業等を支援するための基金を積み立てます。
- ② (新) 漁協連携による相互移動販売促進事業【基本事業名：25101 住み続けたくなる取組】
予算額：(27) — 千円 → (28) 3,500千円
事業概要：複数市町が連携して行う、漁獲物の相互提供による移動販売を促進するための取組について、南部地域活性化基金を活用して支援します。

- ③ 子どもの地域学習推進事業【基本事業名：25102 戻りたくなる取組】
予算額：(27) 1, 313千円 → (28) 1, 173千円
事業概要：複数市町が連携して行う、子どもたちに地域の魅力を伝えることで愛郷心を育むための取組について、南部地域活性化基金を活用して支援します。
- ④ 移住交流推進事業【基本事業名：25103 暮らしたくなる取組】
予算額：(27) 1, 098千円 → (28) 1, 098千円
事業概要：複数市町が連携して行う、移住交流の推進に向けた田舎暮らし体験を実施する取組について、南部地域活性化基金を活用して支援します。
- ⑤ 地域の企業と大学生マッチング支援事業【基本事業名：25103 暮らしたくなる取組】
予算額：(27) 675千円 → (28) 675千円
事業概要：複数市町が連携して行う、地域の中小企業等と大学生のマッチングを促進する取組について、南部地域活性化基金を活用して支援します。
- ⑥ 南部の輝くライフスタイル発信事業【基本事業名：25102 戻りたくなる取組】
予算額：(27) 5, 000千円 → (28) 4, 000千円
事業概要：南部地域ならではの多様な働き方や暮らし方を幅広く提案するため、地域で生き生きと暮らす若者のライフスタイルの発信に取り組みます。
- ⑦ (新) 集落の元気な場づくり支援事業【基本事業名：25101 住み続けたくなる取組】
予算額：(27) — 千円 → (28) 10, 664千円
事業概要：持続可能で元気な地域をつくり、定住の促進につなげるため、市町、地域づくり団体等が行う空き家等を改修した地域交流拠点施設の整備に対して支援します。
- ⑧ (一部新) 人材育成推進事業【基本事業名：25101 住み続けたくなる取組】
予算額：(27) 1, 219千円 → (28) 3, 114千円
事業概要：市町職員や地域おこし協力隊などまちづくりに取り組んでいる者が、実践的なノウハウの習得をめざしながら、互いにつながり、段階的に学び合える場づくりを行います。
- ⑨ (新) 地域おこし協力隊等支援事業【基本事業名：25101 住み続けたくなる取組】
予算額：(27) — 千円 → (28) 2, 268千円
事業概要：地域おこし協力隊の募集にかかる市町の支援や集落支援員等を含めた研修を行うとともに、各隊員等の活動内容に合わせたアドバイスや任期後の定住に向けた支援を行います。